（　　）省（　　）局

（　　）課御中

象牙密猟により激減しているアフリカゾウの保護について（お願い）

拝啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

　さて、ゾウは地球上最大の哺乳動物であり、また高知能でもあります。毎年最大３万８千頭ものこの素晴らしい生き物が殺されているのは不可解です。それも単に象牙取引のためにです。しかも、たった１５年ほどで野生のアフリカゾウが絶滅する可能性があるというのも同様にショッキングです。この悲惨な件について早急な対処をしていただきたくお願い申し上げるため、お手紙差し上げる次第です。

　ワシントン条約締約国会議の日本代表の担当官様には、絶滅が危惧されるアフリカゾウの保護を決定する責任があると存じます。７５パーセントの象牙売買は中国がしており、アジア極東においては象牙は１キロにつき１５００ドルの値打ちがあるそうです。密猟者は、たった４年前は１キロにつき約４ドルだった象牙で、今や驚くべき額の１５０ドルを見込むことができるといいます。ですから、１０キロという少量の象牙で、密猟者は１５００ドルを手にすることができるのです。これは、臨時労働者の１年の稼ぎよりかなり高額です。大きな雄のゾウの牙は１００キロほどあり、一攫千金という動機は相当なものです。

　つきましては、アフリカゾウの保護の緊迫性を認識した上で決議に臨んでいただきたくお願い申し上げます。この堂々とした動物の殺戮を止めるため、国際間と国内ともに恒久的に取引が禁止されるべきです。我々がゾウと未来を共にするには、象牙売買禁止が不可欠です。

また、象牙の需要を減らすために、一般の意識の度を上げる運動があるべきです。麻薬取引と同じく、消費者が法外な値で商品を買うように、密猟者も買い手のもとに象牙を届ける方法を見つけます。この日常的な無感情活動の底流にある倫理問題は深刻にとるべきです。これは、一般の意識向上運動と専門家の効果的な言葉によってのみ実現します。また、ＣＩＴＥＳが法の施行を強調し、そして締結国と共に既存の象牙取引法の取り締まりを強化し、さらにゾウを擁する締結国がよりよく生息地の種を保護できるようにサポートすることが決定的に重要です。

　なお、アフリカゾウに関する統計は次のとおりです。

* １９７９年、１３０万頭
* ２０１３年、４７万頭
* １年間の密猟頭数、３万５千から３万８千頭

　　　　(International Fund for Animal Welfareによる)

　以上、象牙問題とアフリカゾウ保護についてご注目くださりありがとうございます。手遅れになる前にゾウを救うため、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2013年（　）月（　）日

（氏名）